

Ⅲ 住民の意向把握及び課題の整理

1 ワークショップの開催

(1) ワークショップの目的

住民、事業者、行政が連携して、地区の資源や魅力を活かした持続的なまちづくりを進める計画となる「坂地区振興計画」の策定にあたり、現在の坂地区の現状や課題について確認、また、地区の目指す姿やコアプロジェクトを検討するために、「坂地区まちづくりワークショップ」を開催しました。

(2) ワークショップの概要

各回の概要は以下のとおりです。

■開催スケジュール

日 時	内 容	人数
第1回ワークショップ 於：坂公民館 講堂		
令和6年3月19日(火) 19:00~20:50	○オリエンテーション／趣旨・スケジュール等 ○坂地区の現状について ○グループワーク 【テーマ】 ・アイスブレイク ・坂地区のいいところ・改善したいところ ・グループ発表	16名
第2回ワークショップ 於：三島市役所 第2会議室		
令和6年7月8日(月) 19:00~21:00	○オリエンテーション ○前回のふりかえり ○グループワーク 【テーマ】 ・坂地区の将来像について考えよう ・グループ発表	24名
第3回ワークショップ 於：三島市役所 第1会議室		
令和6年10月7日(月) 19:00~ 21:00	○オリエンテーション ○前回のふりかえり ○グループワーク 【テーマ】 ・コアプロジェクトについて考えよう ・グループ発表	24名

(3) ワークショップの参加者

ワークショップには、自治会役員、PTA役員、大学生、その他関連団体及び企業など多様な皆様にご参加いただきました。

■参加者名簿

No.	氏名	役職等	グループ		
			第1回	第2回	第3回
1	勝又 誠	地元関係者	A	A	A
2	内藤 正志	地元関係者	B	B	B
3	内藤 宗尊	地元関係者	C	C	C
4	高木 信泰	地元関係者	A	A	A
5	細井 正晴	地元関係者	C	C	C
6	岩崎 昌司	地元関係者	/	A	A
7	川崎 勝利	地元関係者	/	C	C
8	渡辺 修三	坂小PTA会長	B	B	B
9	参河 基	坂小PTA副会長	/	C	C
10	前島 弘和	箱根西麓のうみんず代表	/	B	B
11	大滝 真人	富士伊豆農業協同組合	C	C	C
12	中村 俊介	三島市観光協会	A	A	A
13	田中 信太郎	三島スカイウォーク	C	C	C
14	細井 清矢	伊豆フルーツパーク	B	B	B
15	岡本 雅世	㈱tane (Salveggio)	A	A	A
16	本多 大典	加和太建設㈱	B	B	B
17	神田 主税	三菱地所㈱ (3×3 labo Future)	C	C	C
18	山田 知弘	㈲日の出企画	A	A	A
19	中島 明子	ママとね	B	B	B
20	水木 友音	日本大学国際関係学部 (矢嶋ゼミ)	C	C	/
21	赤松 優	日本大学国際関係学部 (矢嶋ゼミ)	/	A	A
22	秋澤 遼	日本大学国際関係学部 (矢嶋ゼミ)	/	B	B
23	柴崎 友花	日本大学国際関係学部 (矢嶋ゼミ)	/	A	/
24	野瀬 陽加	日本大学国際関係学部 (矢嶋ゼミ)	/	B	/
25	宮澤 里実	坂小PTA	/	/	A
26	芳賀 美峰	坂小PTA	/	/	B
27	沖 高德	坂小PTA	/	/	C

2 意見のまとめ

ワークショップでは、以下のような意見や提案、アイデアが出されました。

(1) 第1回ワークショップ

①開催概要

- 日 時 令和6年3月19日（火）19：00～20：50
- 会 場 坂公民館 講堂
- 参加者 16名（Aグループ：5名、Bグループ：5名、Cグループ：6名）
- グループワーク

<p>【テーマ】 ○坂地区の現状と課題を整理しよう</p> <ul style="list-style-type: none">・アイスブレイク（お題付き自己紹介）・坂地区のいいところ・改善したいところ
--

②意見、提案等

詳細は、26～28頁のニュースレター参照のこと。

第1回 坂地区まちづくりワークショップ

【発行】三島市 企画戦略部 政策企画課 ☎ (055) 983-2711

第1回ワークショップを開催しました。

箱根西麓に位置する坂地区は、森林や箱根西麓三島野菜を生産する農地など豊かな緑に恵まれ、いたるところで富士山や市街地を眺望できるとも環境のよい地区です。

このたび、坂地区では、住民・事業者・行政が連携して、地区の資源や魅力を活かした持続可能なまちづくりを進めるための計画となる『坂地区振興計画（仮称）』を策定することになりました。この計画は、ワークショップを開催しながら、地区住民や関係者のみなさんと一緒に考えていきます。

- 日時 令和6年3月19日（火）19：00～20：50
- 会場 坂公民館 2階 講堂
- 参加者 16名（うち現地視察から参加 2名）
- プログラム
 - オリエンテーション／趣旨・スケジュール等
 - 坂地区の現状について
 - グループワーク
「坂地区のいいところ・改善したいところ」
 - グループ発表

坂公民館講堂 ▶



お題付き自己紹介

A～Cの3グループに分かれてワークを行う前に、お題付き自己紹介をしました。
 今回のお題は、「一番好きな野菜・果物は？」「三島スカイウォークのつり橋を渡ったことがある？」「一番最近、山中城跡に行ったのは？」

●一番好きな野菜・果物は、

- 野菜 トマト（2票）、キャベツ（2票）、ネギ、サツマイモ、メークイン、大根、にんじん、豆類、ヤマツ葉しょうが
- 果物 スイカ、マンゴー、イチゴ、メロン



▼自己紹介カード

自己紹介カード

●わたしの名前は、
 (氏名) です。

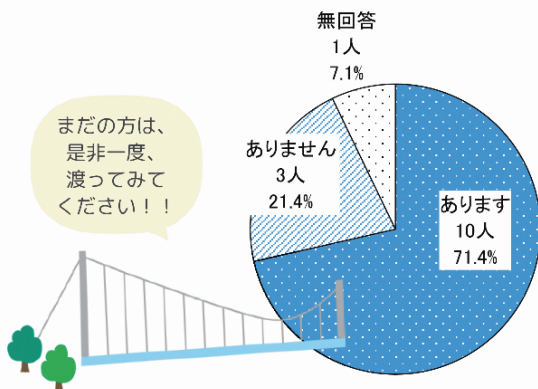
(所属) をしています。

●一番好きな野菜・果物は、
 です。

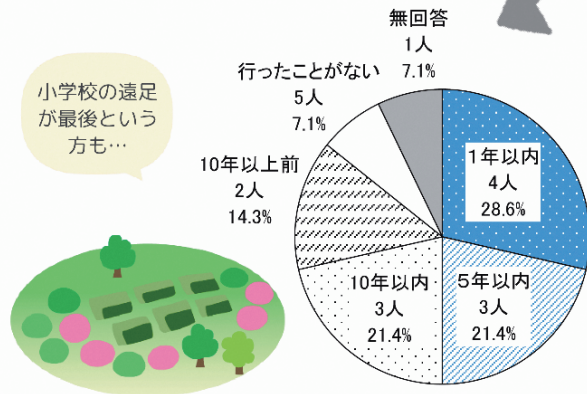
※今日のワークショップで、
 ●三島スカイウォークの「つり橋」を渡ったことが、
 あります ありません

※今日のワークショップで、
 ●一番最近、山中城跡に行ったのは、
 (いつ) です。

●三島スカイウォークの「つり橋」を渡ったことが、



●一番最近、山中城跡に行ったのは、



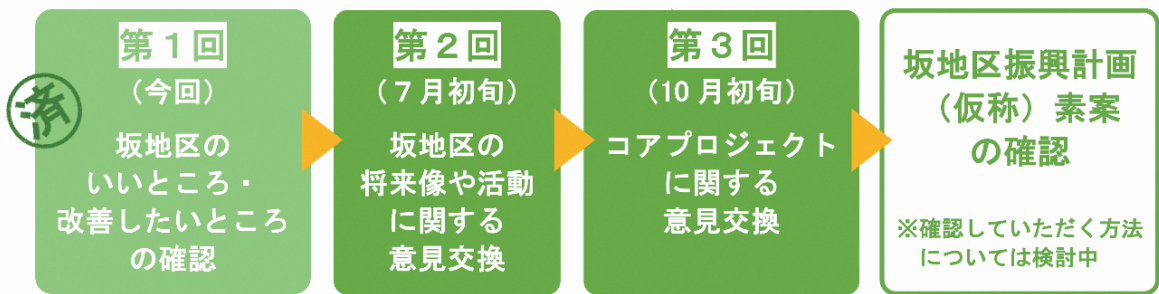
グループワーク

自分が思う「坂地区のいいところ」「改善したいところ」「その他」について付箋紙に書き出し、グループ内で意見交換を行いました。(詳細は、別紙まとめ参照)



今後のプログラム

ワークショップは、今年度1回開催し、来年度2回程度の開催を予定しています。とりまとめた「坂地区振興計画（仮称）素案」については、確認していただく機会を設けます。 ※ 今後の進捗状況により変更の可能性あり



第1回 坂地区まちづくりワークショップまとめ

【発行】三島市 企画戦略部 政策企画課 ☎ (055) 969-2711

坂地区はこんなところ（現状と課題）

自然や歴史資源に恵まれ、観光客も多く訪れる地区です。良質なコミュニティの中で豊かな暮らしが営まれています。が、少子高齢化が課題となっています。

【凡例】坂地区のいいところ・改善したいところ・その他

自然

自然に囲まれた、眺めが良い地区です

- 富士山や駿河湾、市街地の夜景など、坂ならではの眺めがよい
- 三島スカイウォークから見る駿河湾がきれい
- 自然が豊かで、空気がよい

坂道

○夜霧がきれいなところがあるが、車を停められない

○坂が多く、自転車(ママチャリ)が使えない

○花粉が多い、冬は寒い

○雪が降ると、チエーン規制や通行止めになる

○国1沿いを離れると山の中になってしまい、少し怖い

歴史

山中城跡をはじめ歴史資源が沢山あります

- 山中城跡は歴史や物語がある
- 山中城はHPでの検索が多い
- 芝生広場が気持ちいい
- ペンニックがほしい!
- 地元の人の蕎麦屋が美味しい
- 街道沿いに神社が多い
- 三ツ谷神社の階段が良い
- 山神社の祭りが良い

○山中城跡は落ち武者伝説があり怖い
→肝試しイベントができるのでは?

○山中城まつりを地区で開催したい

祭

○子どもが少なくなり、シャギリが中止となっている

○少子高齢化が進んでいる

○幼稚園が休園中

生活

アクセスが良く便利ですが、生活に不便もあります

- 地区の位置が良い(箱根・御殿場・沼津・函南へのアクセス)
- 箱根にも市内にも近い
- 伊豆に対するポジションが◎
- 国1がきれいに片付いた
- 静かな住環境
- 働く場所(工業団地)ができた
- 工業団地で働く人に居住して欲しい

●道路環境

- イベント時渋滞する
- 道が少ない(国1のみ)
- 大地震が来たら孤立しそう
- 交通事故が多い
- 駐車場、トイレがない

●公共交通

- タクシーを呼んでも来ない
- バスが混んでいる
- 自家用車が無いと不便

●商業施設

- コンビニがない
- 飲食店が少ない

交通

観光客が多く訪れますが、地区のPRが不足しています

- 旧東海道
- 旧東海道フリークが多い
- 石畳がよい
- 鎌倉古道を使う人が多い
- インバウンドが多い

●サイクリング

- サイクリストが多い
- 市街地から一気に里山になる良いコース

●PR (情報発信) 不足

- 観光が地区の知名度につながらない
- 市民の訪れる場所が少ない

●地区の特長をもっと発信する

- サイクリストの回遊をつくりたい

人

地区外の人と交流したい

空き家や土地活用の仕組みが必要です

●空き家 (古民家)

- 地区の人が集まれる場所
- 公民館はルールが厳しい
- 空き家の流通システム(仕組み)が必要
- 借りたい人はいる
- 相談窓口(借りる、買う)がある

●空家ポイントとして活用する

- レストハウスに活用する
- 富士山が見れる宿

●空き家 (古民家)

- 地区の人が集まれる場所
- 公民館はルールが厳しい
- 空き家の流通システム(仕組み)が必要
- 借りたい人はいる
- 相談窓口(借りる、買う)がある

●土地活用

- 眺めがいいので、賃貸需要がある(特にお金持ち)
- 売りたい人とのマッチング

●古民家が多い

- 移住につなげたい
- 貸してくれれば活用できそう

○家を建てる土地が少ない

○土地の多くが森林組合の所有で、商業地として活用しにくい

○市街化調整区域が外れない

土地

空き家や土地活用の仕組みが必要です

●空家ポイントとして活用する

- レストハウスに活用する
- 富士山が見れる宿

●空き家 (古民家)

- 地区の人が集まれる場所
- 公民館はルールが厳しい
- 空き家の流通システム(仕組み)が必要
- 借りたい人はいる
- 相談窓口(借りる、買う)がある

●土地活用

- 眺めがいいので、賃貸需要がある(特にお金持ち)
- 売りたい人とのマッチング

●古民家が多い

- 移住につなげたい
- 貸してくれれば活用できそう

○家を建てる土地が少ない

○土地の多くが森林組合の所有で、商業地として活用しにくい

○市街化調整区域が外れない

観光

観光客が増えています

●箱根の里

- マウンテンバイクやロードの拠点にしてはどうか
- プログラムに改善の余地があるのでは?
- 幼児向けの向かれば...
- 三島スカイウォーク
- 旧道を通る工夫がほしい

●箱根の里

- 施設が古い
- 市民には良いが、外(観光)にはもったいない
- 三島スカイウォーク
- 動線から一本外れている

●観光 PR

- 旧東海道フリークが多い
- 石畳がよい
- 鎌倉古道を使う人が多い
- インバウンドが多い

●サイクリング

- サイクリストが多い
- 市街地から一気に里山になる良いコース

●地区の特長をもっと発信する

- サイクリストの回遊をつくりたい

●PR (情報発信) 不足

- 観光が地区の知名度につながらない
- 市民の訪れる場所が少ない

●地区の特長をもっと発信する

- サイクリストの回遊をつくりたい

農業

農業が盛んですが、休耕地が増えています

- 野菜が美味しい!!!
- 関東ローマ層の土壌が良い
- 生産者の人柄もよい
- 敷地が広い

○後継者が少ない

○平地が少なく、生業とするには狭い(よい土地は使っている)

○休耕地がある

○畑が赤ってそう

○美味しい野菜を提供するレストランがほしい

(2) 第2回ワークショップ

①開催概要

- 日 時 令和6年7月8日(月) 19:00~21:00
- 会 場 三島市役所 第2会議室
- 参加者 24名 (Aグループ: 8名、Bグループ: 8名、Cグループ: 8名)
- グループワーク

<p>【テーマ】 ○坂地区の将来像について考えよう</p> <ul style="list-style-type: none">・坂地区の目指す姿(こんな坂地区になったらいいな)・目指す姿を実現するためのアイデア(具体的な取組や活動)

②意見、提案等

詳細は、30~32頁のニュースレター参照のこと。



第2回 坂地区まちづくりワークショップ

【発行】三島市 企画戦略部 政策企画課 ☎ (055) 983-2711

第2回ワークショップを開催しました。

坂地区の資源や魅力を活かした持続可能なまちづくりを進めるための計画となる『坂地区振興計画（仮称）』の策定を目指すワークショップ。第2回目となる今回は、坂地区の将来像や活動に関する意見交換を行いました。自治会、観光・農業関係者、日本大学国際関係学部の学生さんなど、バラエティに富んだ顔ぶれが揃いました！

- 日時 令和6年7月8日（月）19：00～21：00
- 会場 三島市役所 第2会議室
- 参加者 24名
- プログラム
 - オリエンテーション／趣旨・スケジュール等
 - 前回のふりかえり
 - グループワーク
「坂地区の将来像について考えよう」
 - グループ発表



三島市役所第2会議室 ▶

① 坂地区の目指す姿

A～Cの3グループに分かれて、① 坂地区の目指す姿（こんな坂地区になったらいいな）と② 目指す姿を実現するためのアイデア（具体的な取組や活動）について話し合いました。坂地区を訪れる人との交流、地区内の少子化対策、空き家・空き地の活用、産業振興など、様々なアイデアが出され、活発な意見交換となりました。（②は別紙まとめ参照）



子育て

- 子育て世代が住み続けたいと思う地区
- 子育て世代が移住してくる地区
- 住民以外の子どももいる地区
- 子どもが生き生きしている地区
- 地域の皆で子どもを育てる地区
- 豊かな自然の中で子どもが育つ地区

食と農

- 市内と食でつながる地区
- 食と農業の拠点となる地区
- 食と農の癒しのリゾート
- 西麓野菜の魅力を発信する地区

交流

- 企業と住民が手を取り合う地区
- 観光客と地域がつながる地区
- インバウンドを意識した観光
- 移住者と既存住民との交流活動

空き家・土地

- ゆったりと中長期滞在できる地区
- 外の人を受け入れる地区
- 空き家・空き地のフル活用

アウトドア

- アウトドアを全力で楽しめる地区
- 自然と共存する地区
- サイクリストのための充実した環境
- マウンテンスポーツの聖地

産業

- 最先端技術産業のある地区
- 地区内で生業をする人のまちづくり

コミュニティ

- 互いに助け合う地区
- 住民全員が知り合いの地区
- 住民満足度全国一位！！
- 地域の人の笑顔あふれる地区
- 人とのつながりを求めに来る地区
- 思いやりの地区
- 絆が強い地区

景観

- 景観を資源とした観光
- 眺望が静岡県で一番の地区
- 景観を活かしたサウナのまち
- 富士山を活かした観光

グループ発表

自分が思う「坂地区の目指す姿」「目指す姿を実現するためのアイデア」について付箋紙に書き出し、グループ内で意見交換を行いました。



模造紙 ▶

▼話し合い風景





▲グループ発表風景



▲グループ発表風景

▼話し合い風景





◀ 模造紙



模造紙 ▶

▼話し合い風景





▲グループ発表風景

今後のプログラム

次回のワークショップは、今回出された取組アイデアの中から実現性の高いもの、すぐ取り組めるものをコアプロジェクトと位置付け、具体的な内容について深掘りします。

※ 今後の進捗状況により変更の可能性あり

第1回
(3月19日)

坂地区の
いいところ・
改善したいところ
の確認

▶

第2回
(7月8日)

坂地区の
将来像や活動
に関する
意見交換

▶

第3回
(10月7日)

コアプロジェクト
に関する
意見交換

▶

**坂地区振興計画
(仮称) 素案
の確認**

※確認していただく方法
については検討中

② 目指す姿を実現するためのアイデア（具体的な取組や活動）

子育てしやすい地区

- **坂小学校**
 - 在校生との交流の場の創出（体験入学）
 - 少人数を活かした英語教育の徹底
 - 留学生の受け入れ
 - デュアルスクール（地方と都市の二つの学校が一つの学校のように教育を展開）の導入
 - 中学校との連携、世代間交流
 - 地域と連携した総合学習
 - 坂小を利用したキャンプの開催
 - 子どもをターゲットにしたイベント開催
 - 坂小フットボールクラブの活性化・強化
- **旧坂幼稚園**
 - 地域の人が誰でも行けるカフェ（子どもと大人の交流）
 - 保育園留守（保護者と一緒に地域に滞在するプログラム）の留学先にする
 - 月一で、誰でも参加できるPartyを開催！！
- **自然教育**
 - やまぐり（山田川グリーンツーリズム研究会）のような活動
 - 長期休みを使った交流の受け入れ（キャンプ、ホームステイ、イベント）
 - 音のふれあいや風景、元気を取り戻す

自然や景観を活かした観光

- **箱根の里**
 - **サイクリング**
 - マウンテンバイクのコースづくり
 - サイクリストが泊まれる場所に！
 - 自転車拠点の整備
 - トレイルランニング、マウンテンバイク等の利用者に向けた施設の整備
 - **キャンプ**
 - 木曽御冷公園（長野県）みたいに！
 - キャンプ場のリニューアル（民間活用）
 - 巨大キャンプ場
 - グランピング施設の整備
 - サブハイルキャンプツアー
 - サバス（路線バスを改造した移動式サウナ）
 - 森林セラピー（フル・ショートバージョン）
 - 森林セラピー（ガイド、旅行商品、イベント）
 - **イベント**
 - 音楽フェスの開催
 - 観光客が来るようなお祭り、イベント開催
 - バーベキューイベント
- **三島スカイウォーク**
 - 市内までのロングジップライン
 - ジップラインサウナ（涼む）、天空のサウナ

食と農の体験ができる地区

- **農家レストラン**
 - 採れたて箱根西麓三島野菜のレストラン
 - フーディーズレストラン(食通、グルメ対象)
 - レストラン (or テリ) + 食品加工野+野菜酒売所
 - 野菜を使ったメニューを主に取り扱うレストランカフェ
 - カフェ好き多い。SNSで誘致できそう
- **農家ホテル（滞在型観光）**
 - オフグリッド(水と電気を自給する)なラックジュアリーホテル
 - オーベルジュ(料理を楽しむことを滞在のメインとした宿泊施設を備えたレストラン)
 - フアームグランピング、畑とサウナ
- **体験**
 - 農業アカデミーを開催（食育プログラム）
 - 野菜の収穫体験ツアー
 - クワインガルテン（市民農園）
 - 農業の指導者がいる市民農園
 - シェアキッチン
- **食品加工**
 - アグリスイーツのメニュー開発
 - おしままモンゴパフェの限定提供
 - スイーツや料理の開発、普及（丹那牛乳のメーカーとの連携）
 - ウェルネスフーズ
 - 野菜の加工品開発
 - 人参ジュースのPR（風呂上りにノンダ割）
- **その他**
 - 新規営農者を優遇し増やす（助成金）
 - 休耕地の活用
 - 三島青果の倉庫活用

空き家・空き施設の活用

- **旧坂幼稚園**
 - 芸術祭を開催する
 - アートエなど、アートの拠点とする
 - 移住体験施設として活用する
- **小沢分校**
 - 分校跡の有効活用（まわりの住宅が住える）
 - 一棟貸しのキャンプ場にする
- **空き家**
 - 空き家を利用してお試し外泊
 - 空き家マップの作成
 - 空き家活用に対する行政の補助金の導入
 - 地区全体をアミューズメント化する(空き家を逆手に)（江戸時代みたいな？）
 - 古民家カフェ、ネコカフェ
 - 分散型宿泊施設をつくる
 - 古民家を会員制コンドミニアムに整備
- **移住者住**
 - 移住相談会（体験談）の実施
 - 移住希望者向けのPR
 - 三ツ谷慶良田園住宅による移住促進
 - 宅地の造成、住宅団地の誘致（市主導）
 - 新住民との交流
 - 外国人を温かく受け入れる
 - アーティスト、クリエイターのまち
- **土地活用**
 - 市街化区域をつくる（不可能？）
 - 市街化調整区域の見直し

生活利便性の向上

- 自動運転モビリティ（バス？ タクシー？）
- 公民館等にコンビニエンスストアを設置
- 商業店舗が増えるように

情報の発信・PR

- ドラマのロケ地 → YouTube で流す
- SNS（インフルエンサー）による情報発信

最先端技術の誘致

- 伝統と最先端技術が共存するまち
- “ふじのくに”のフロンティアを拓く取組の活用
- アグリテック拠点
- 地区内で生業（企業も農業も）をする人が住むまちづくり
- 企業が広域イベントを行う際に住民がボランティアになり積極的にサポート
- 自動運転車が行き交うようにする
- 市内～箱根まで電動自転車のみの移動可能
- 空飛ぶ車の拠点



(3) 第3回ワークショップ

①開催概要

- 日 時 令和6年10月7日（月）19：00～21：00
- 会 場 三島市役所 第1会議室
- 参加者 24名（Aグループ：8名、Bグループ：8名、Cグループ：8名）
- グループワーク

- 【テーマ】 ○「坂地区振興計画」施策案の確認
 ○コアプロジェクトを考えよう！
- ・自分たちが主導となってやってみみたいプロジェクトを考えよう
 - ・イチオシプロジェクトを決めよう

②意見、提案等

Aグループ

区 分	内 容
地域商社	<ul style="list-style-type: none"> ・まずはみんなで話をできる場を作りたい ・坂地域のブランド化、PR ・課題解決をする団体をつくる ・様々な取組を部署制にして進める ・坂地区に魅力を感じる人を集めて組織にする ・多世代での情報交換できる場にしたい ・デジタル情報を発信して共感する人を集めたい
坂幼稚園・小学校・公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの拠点したい ・幼稚園を考えるイベントをやってみたい
箱根の里・子供の森公園	<ul style="list-style-type: none"> ・連携を高めたい ・自転車・アウトドアの関係者を集めて改善方法を考えたい ・他地域のサイクリング拠点として位置付けたい ・農園カフェ・アウトドアフェス ・近くの畑で野菜を取って料理できる
モバイルサウナ	<ul style="list-style-type: none"> ・湧水等を使ってブランド化

Bグループ

区分	内容
移住定住人口を増やす	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは空き家情報の把握と住民の理解 ・地元住民で空き家調査、勉強会 ・空き家を活用したお試し移住（物件があれば、不動産仲介） ・2泊3日程度のお試し親子留学 →坂小・自然体験・空き家もしくは地元の家ステイ ・坂小・子育て支援団体・坂地区住民 ・首都圏の市町と連携？（広報）例：防災協定
観光 関係人口を増やす	<ul style="list-style-type: none"> ・箱根の里を拠点に、学生と周る三島ツアー ・食×キャンプ ・大学と連携し、三島の魅力をPR ・逃走中（坂小でのイベント） ・カフェ、レストラン事業者の誘致（眺めの良い物件があれば） ・モバイルサウナイベント（坂公民館、坂幼稚園）

Cグループ

区分	内容
生きる力を育むプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・生きる力を学べる教育先進地 ・坂小×農業 ・中学校以降の教育の充実（教育先進地） ・社会課題解決型の環境教育 ・農業の6次産業化（小学校のポテトなど） ・富士宮ホールアースのような団体を設立
箱根の里のリブランディング	<ul style="list-style-type: none"> ・複合施設としてリブランディング ・箱根の里でのサマースクール
横断的な話し合いの場の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民と新住民（若い世代）との交流 ・横断的な坂地区集会 ・おやじの会の充実（得意を活かす） ・生活の中の繋がりを大切にする
ジビエ加工所の建設	<ul style="list-style-type: none"> ・害獣駆除として狩猟をしている ・自宅でジビエとして野生鳥獣の解体をしているが、加工所が欲しい ・子どもたちの命の授業になっている
お試し居住（教育居住）の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・入学希望者を取りこぼさない仕組みが必要 ・住宅が無いため、10人／年は入学を断念している ・現在、空き家は少ないが、空き家予備軍は多い
〇〇×農業プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇＝デザイン、ITなど

3 課題の整理

現況調査及びまちづくりワークショップ等の結果を踏まえ、坂地区の課題を以下のように整理します。

(1) 地域資源と既存施設の有効活用の検討

坂地区は、豊かな自然環境に加え、レジャー施設や歴史資源も数多く存在しており、国内外より観光客が訪れています。回遊性に乏しく、地区全体の活性化には至っていません。また、地区内にある三島市立箱根の里は、社会教育施設であるため使用目的が制限されるといった課題があります。そのため、これらの地域資源を有効活用するとともに、箱根の里や子供の森公園といった既存施設の効果的な利用や再整備を図り、交流人口の拡大と地区全体の活性化に繋げていくことが求められます。

(2) 地区横断的なまちづくり活動と拠点の検討

地区内のコミュニティは良好で、自治会等の地縁組織も維持されていますが、働き方や価値観の多様化により活動の担い手不足が問題となっています。しかし一方で、坂小学校やその保護者との繋がりも強いことから、地区の持続的な維持とさらなる活性化のために、地区横断的なまちづくり活動や組織が求められています。また、活動の拠点として、坂公民館や坂幼稚園といった既存施設の機能拡充や再整備も検討する必要があります。

(3) 坂小学校の特色を活かした少子化への対応

坂地区の人口は横ばいで推移しているものの少子化は進行しており、坂幼稚園は休園、坂小学校の児童数は1学年あたり7～13名（令和6年5月1日調）となっています。また、祭りの子どもシャガリが中止となり、子ども会も存続が危ぶまれる状況にあります。しかし、坂小学校の少人数ならではの特色ある教育に魅力を感じて学区外から通学する児童もいることから、入学希望者の増加とその家族の移住定住に繋げていくことが求められます。

(4) 空き家活用の検討

坂地区の人口は横ばい傾向にある一方で世帯数は微増傾向にあり、単身世帯が増加しています。同時に高齢化が進行していることから、現在は空き家が目立つ状況はありませんが、空き家予備軍は多いものと推測されます。今後の空き家の発生を防ぐためにも、現在ある空き家についてお試し居住やワーケーション施設等として活用する方策の検討が求められます。